

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	医療専門学校 水戸メディカルカレッジ
設置者名	社会福祉法人 北養会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の授業終了後に授業実施記録をもとに専任教員と担当講師とで協議し、次年度の授業計画(シラバス)を作成する。年度末に学科内会議にてすべての授業計画(シラバス)について審議する。これを新年度当初に学生に公表する。 ・シラバスの作成過程及び時期 <ul style="list-style-type: none"> 7月または1月 授業計画(シラバス)(案)の内容を検討 2月 学科内会議にて審議。授業計画(シラバス)の決定 ・シラバスの公表時期： 4月 	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページにて公開。 掲載 URL https://www.mmc.ac.jp/accounts/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則及び学則施行細則において、出席、試験、成績、進級及び卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学習成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。 ・講義要項(シラバス)に成績評価の方法・基準を明記するか、初回授業で説明する。 ・学修成果は、試験の成績及びレポート、平素の授業態度、技術習得状況、出席状況並びに実習の成績等により、科目担当教員が総合的に判断し評定する。 ・学修評価の基準は、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)で評定し、可以上を合格とする。 ・出席した時間数が履修時間数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 ・試験によって不合格となった科目に対しては再試験(再実習)を行うことがある。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、分布状態を把握している。
- ・GPA は、学修の評価の優～不可に 4～0 ポイント (Grade Point) を付与し積算したものを履修総単位数で割って平均化した値で表し、GPA の最高は 4.0 となる。(小数点 2 位以下四捨五入)

GPA = (各科目の評価ポイント × 単位数) の合計 / 履修単位数の合計

評価ポイント

学修の評価	素点	評価ポイント
優	80～100 点	4 ポイント
良	70～79 点	3 ポイント
可	60～69 点	2 ポイント
不可	～59 点	0 ポイント

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校ホームページにて公開。

掲載 URL

<https://www.mmc.ac.jp/accounts/doc/shihyou2023/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・各学科における教育課程の全てを修得したと認められた者に、教員会議の議を経て、卒業を認定する。
- ・社会人としての礼節と医療人としての共感的態度を併せ持ち、倫理的思考・活動ができる。
- ・専門家として必要な基礎知識・技術の習得とともに、知的好奇心と向上心を養い、迅速に問題を解決できる能力を身につける。
- ・医療・保健・福祉各分野に渡る広い視野で物事を捉え、地域社会の一員として、積極性・社会性かつ協調性を持った臨床専門家を目指す。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校ホームページにて公開。

掲載 URL

<https://www.mmc.ac.jp/accounts/doc/sotsugyou2023/>